

新焼却施設整備基本計画（案）

1. 新焼却施設整備の背景

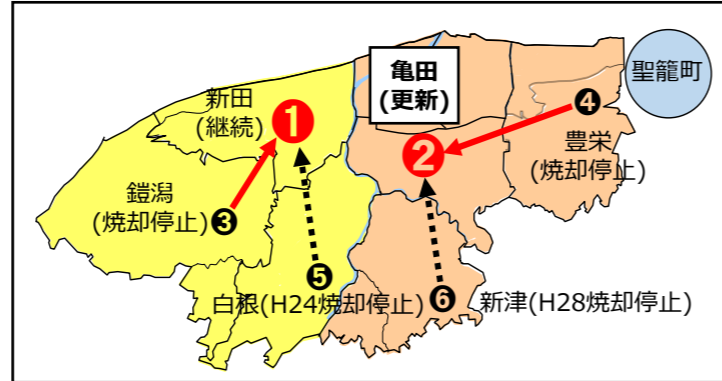
現状と課題

- 平成の合併後、2施設停止(中継施設化)
- 稼働中の3施設が老朽化(豊栄、亀田、鎧湯)
- 今後の人口推移に基づくごみ量減少
- 施設の効率化に向けた再整理

今後の体制

亀田清掃センターを建て替え、新田清掃センターとの2施設体制
 亀田（豊栄・新津） 新田（鎧湯・白根）

- 豊栄、鎧湯は持込みごみ受入を継続
→ 統合後も**市民サービスを維持**
- 本市と豊栄郷清掃施設処理組合を構成する聖籠町
→ **新発田地域広域事務組合に移行(予定)**



2. 施設整備の基本方針

●新焼却施設の設計・施工・運営における基本方針を次のとおり策定

1. 環境にやさしい

排ガス等による
環境負荷の低減

2. 安心・安全

安定で確実な処理

3. 低炭素社会を推進

省エネルギー、
効率的な発電

4. 災害に強い

防災拠点活用、
災害時の早期処理

5. 経済性

ライフサイクルコストの低減、
売電収入の増

3. 新焼却施設に関する基本項目

処理方式

ストーカ式焼却

- 全国7割以上の施設で採用
→ 事業者選定の**競争性確保**

施設規模

処理能力：459t/日
炉構成：153t/日×3炉

- 災害分等を含む

注) 今後のごみ量推移により適宜精査

発電

発電能力：12,000kW
年間発電量：70,000MWh/年

- 年間発電量は現施設の約2倍、約23,500世帯分

注) 今後の施設規模により適宜精査

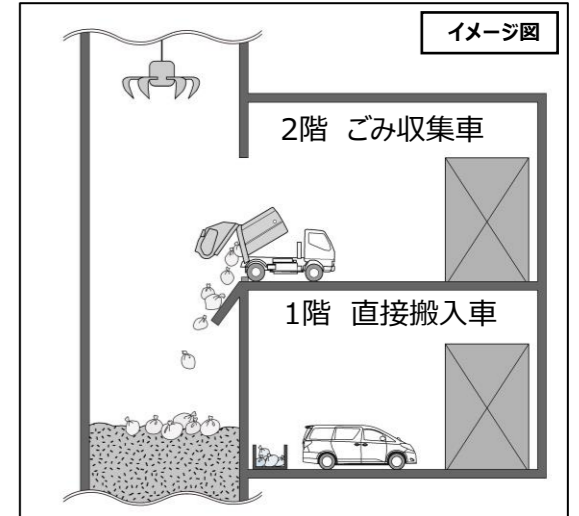
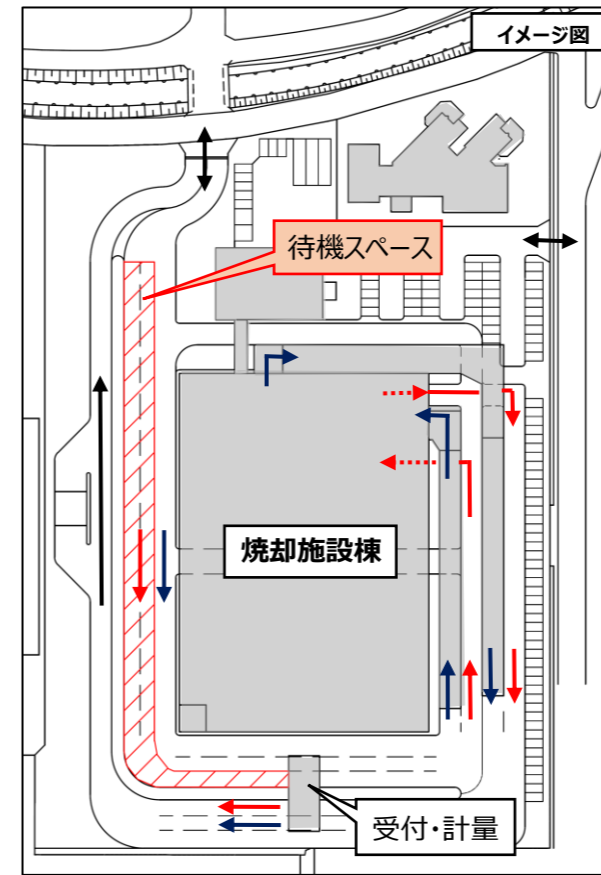
公害防止（排ガス）

(12%O2換算値)

項目	単位	法基準値	新施設 自主基準値
ばいじん	g/m ³ N	0.04	0.01
塩化水素	ppm	430	30
硫黄酸化物	ppm	3,000(※)	20
窒素酸化物	ppm	250	50
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.1	0.1
水銀	μg/m ³ N	30	30

(※)想定される排ガス量、煙突高さ59mの場合の概算値

配置イメージ



- 【課題】
- 直接搬入車増による道路渋滞
 - 車両動線の安全対策

- 【対策】
- 構内待機車両動線の増設
 - ごみ収集車と直接搬入車両の分離化
 - 荷下ろし場の増設、円滑な精算システムの検討

周辺道路環境

外灯整備検討

敷地内に夜間交通の安全確保のため、**外灯の設置を検討**

収集車搬入出経路

住宅地周辺を避けたルート設定(**集約化**)
(R4年1月から一部実施)

周辺道路整備

- 区役所と連携し検討

余熱利用施設検討

田舟の里（附属休憩所）
継続利用

- 他の活用手法を検討

防災機能

避難所機能

- ・補助的な避難所
- ・150人程度収容

備蓄機能

- ・市の備蓄拠点活用

その他機能

- ・田舟の里(お風呂)活用

4. 整備事業スケジュール（想定）

動き / 年度	R3	R4	R5	R6	R7~R10	R11~
地元説明	●	←	→	→	→	→
環境影響評価	●	→	→	→	→	→
事業手法の検討及び事業者選定	●	→	→	→	→	→
建設工事					●	→
施設稼働						●
現施設解体(予定)						●

- R3：基本計画の**パブリックコメント、地元説明会を実施予定**